NaviTabi ロゲイニング向け

イベント開催準備チェックリスト【事前準備編 1/4：方式決定・企画・現地通信確認】

▼ STEP 0：最初に決める「大会ルール × NaviTabi 運用設計」

該当する選択肢を残して編集してください。ここを先に決めておくと、アプリの設定と印刷物の作り直しが減ります。★はイベント主催者プランが必要な選択肢です。

① コース種別・カテゴリー・参加条件・表彰	【 スコア（スタート・フィニッシュ地点を置く） ／ スコア（どこでもスタート：地点を置かない） 】 カテゴリー・表彰区分：【 一般 ／ ファミリー ／ ソロ ／ チーム（1台） ／ チーム（得点合算） 】 ／ 参加料・参加賞：【 有 ／ 無 】	※コース種別と「チーム（得点合算）」はカテゴリー作成時にしか選べない。チーム（得点合算）は自動パンチ・ボーナスQR・計時停止に対応しない。男女別・年齢別は「カテゴリーを分ける」か「エントリー番号の帯（101〜/201〜）で分ける」かも決める。
② パンチ（通過証明）方式と反応距離	【 手動パンチ＋写真撮影（既定40m） ／ 自動パンチ（既定40m） ／ 自動パンチ＋手動フィニッシュ（既定40m） ／ 手動パンチ（既定20m） 】 ＋ スポットパンチQR：【 使わない ／ QRのみ ／ GPSとQRどちらでも可 ／ GPSとQRの両方が必要 】	※観光の回遊が目的の大会やクイズ付きCPは「手動パンチ＋写真撮影」がよい（クイズの画面が自動で開くのはこの方式だけ）。スコアの自動パンチは、CPを1つ取った後にフィニッシュの範囲へ入ると完走になる。フィニッシュ付近を通るなら「自動パンチ＋手動フィニッシュ」にする。
③ 参加受付・参加者名簿の管理方式	【 方式A：承認なし（表示名のみ） 】 【 方式B1★：参加承認＋エントリー番号必須 → 当日「参加受付QR」を掲示（事前CSV取込 または 紙名簿で照合） ／ 方式B2★：参加承認＋4桁「イベント番号」で自動承認 ／ 方式B3★：参加承認＋アプリで事前に参加申請 → 手動承認 】	※方式B1で名簿CSVを取り込むと、当日は受付QRを読んで番号を入れるだけで表示名が入る。CSVを使わず紙やExcelの名簿で照合してもよい。方式B3は募集開始までに本番用カテゴリーを「公開」にし、イベントを公開して「参加申請受付」をONにする。
④ スタート方式と制限時間・遅刻減点	【 自動の一斉スタート★（20〇〇/〇/〇 10:00 にアプリが全員の計時を始める） ／ 手動の一斉スタート（号令で全員がスタートボタンを押す） ／ 個別スタート 】 制限時間：【 3時間00分 】 ／ 遅刻減点：【 1分につき50点（1秒超過で1分に切り上げ） ／ 〇分超過で失格（手作業でDNFにする） 】	※自動の一斉スタートは5分前からスタート準備ができ、計時は全員が設定時刻から始まる（日時は前日までに確定）。手動の一斉スタートはアプリでは個別スタートと同じ設定で、計時は各自がボタンを押した時刻から始まる。アプリが自動で打ち切る（以後は位置も届かない）のは制限時間＋1時間と8時間の長いほうを過ぎたときだけで、それより早い失格は結果リストで「完走からDNFに変更」する。
⑤ 安全管理・演出オプション・有償サポート	ライブトラッキング：【 常に有効★ ／ 参加者が選ぶ 】 ／ 競技範囲：【 使わない ／ 競技エリア ／ 立入禁止エリア ／ 両方 】 演出オプション：【 クイズ ／ シークレットスポット★ ／ 計時停止★ ／ 組み合わせボーナス ／ ボーナスQR ／ AI写真判定★ 】 運営体制：【 自主運営 ／ NaviTabi有償サポートを使う（#4） 】	※競技エリア・立入禁止エリアを設定すると、プランがなくてもライブトラッキングは常に有効になる。エリア・ボーナスQR・組み合わせボーナスを使うと古いアプリでは参加できないので、参加者にアプリの更新を案内する。
⑥ アプリで地図（CP位置）を見せる時期	【 事前に見せる ／ 作戦時間の開始まで伏せる★（方式B1〜B3が前提） 】	※伏せる場合の設定と当日の切り替えは4ページ目の手順を参照（方式B2・B3は申請受付の前に設定）。Webのイベントページは承認と関係なく誰でもコースを見られるため、「ライブマップと結果リストを隠す」もオンにする。

PHASE 1　開催 3〜2ヶ月前　企画・ルール／表彰設計・会場と通信の確認・予算／サポート検討

大会のルール（参加料・カテゴリー・表彰・参加賞）を決め、会場の通信環境確認やプラン・有償サポートの検討を進める段階

	#	分野・区分	準備項目（タスク） ＆ 一般ロゲイニング×NaviTabi 運用の実務ポイント	推奨担当	担当者・期限
☐	1	大会企画 一般運営	**開催目的・日程・エリア・想定参加人数（チーム数／スマホ台数）の決定** 観光振興・地域回遊・スポーツ等の目的と制限時間（2〜5時間等）を設定。荒天時の中止・短縮基準や予備日の有無も決めておく。	統括責任者	担当： 期限：　/
☐	2	参加条件・表彰 一般運営	**カテゴリー区分・参加条件・参加料・表彰対象（順位賞／特別賞）・参加賞の決定** 各カテゴリーの参加条件（ソロ／チーム人数、小学生以下の保護者同伴ルール等）、参加料、上位表彰の対象範囲（総合1〜3位、ファミリー賞、飛び賞など）、および全員に配る参加賞や地域クーポンの内容を決定する。	統括責任者	担当： 期限：　/
☐	3	会場・通信・保険 一般運営 NaviTabi必須	**メイン会場（スタート・フィニッシュ・本部）の確保、「携帯通信環境」の現地確認、施設許可・保険検討** スタート時のコース情報の読み込み、参加受付QRの読み取り、フィニッシュ時の記録の同期、本部PCの「運営コンソール」には通信が要る。主要キャリアの電波を現地で確かめ、施設・公園の利用許可を取る（必要ならイベント保険も検討する）。	統括責任者 コース担当	担当： 期限：　/
☐	4	役割分担・外部の支援 一般運営 任意検討	**役割分担と、足りない役割を外部に頼むかの検討** 3ページ目の役割と兼務のモデルケースを参考にして、統括責任者・コース担当（渉外を含む）・アプリ担当・総務担当を誰が受け持つかを決める。少人数なら兼務でよい。決めた担当と連絡先は「08 スタッフ役割分担表」に書き込む。受け持てない役割が残ったら、NaviTabi の有償サポートなどに相談する（相談は無料。navitabi.co.jp/organize/paid_support_for_events/）。	統括責任者	担当： 期限：　/
☐	5	プラン・プレイ枠 NaviTabi必須	**「イベント主催者プラン」の加入判断と、追加プレイ枠（1日・1イベント10プレイまで無料）の予算確保** STEP 0 の★を1つでも使うなら主催者プラン（月4,000円／年10,000円・税込）に入る。運営メンバーの追加、配布用PDF地図、エントリーリストや結果のCSV入出力もプランの機能。プレイ数は、カテゴリーごとに出走するスマホの台数を足して見積もる（練習カテゴリーと「試走する」は数えない）。追加プレイ枠を買うのは開催直前の週。	アプリ担当	担当： 期限：　/
☐	6	店舗協力 一般運営 NaviTabi推奨	**協賛店舗・CP施設への協力依頼** 店舗に立ち寄る企画（ボーナスQR・スポットパンチQR）は店舗側の段取りを確かめる。	コース担当（渉外）	担当： 期限：　/
☐	7	募集要項・申込 一般運営 NaviTabi推奨	**大会要項の公開とエントリー募集（申込フォームで集める項目の設計）** 募集サイトや申込フォームで受付を始める。当日の連絡と名簿のため、①代表者の当日の携帯電話番号（安全管理に必須）、②チーム名（NaviTabiの表示名）、③参加カテゴリーを集める。方式B3（アプリで参加申請）なら、募集開始までにイベントと本番用カテゴリーを作り（#9・#12を前倒し）、両方を公開して「参加申請受付」をONにする。告知には navitabi.co.jp/organize/materials/ の素材を使える。	総務担当 アプリ担当	担当： 期限：　/

NaviTabi ロゲイニング向け

イベント開催準備チェックリスト【事前準備編 2/4：CP現地調査・イベント／コース構築】

PHASE 2 開催 2〜1ヶ月前 現地調査（CP選定・配点設計）＆ アプリ／Webでのイベント・コース構築

現地を歩いて安全で魅力的なチェックポイント（CP）を選定し、NaviTabiのイベント・コース・カテゴリー・オプション機能を設定する段階

	#	分野・区分	準備項目（タスク） ＆ 一般ロゲイニング×NaviTabi 運用の実務ポイント	推奨担当	担当者・期限
☐	8	CP現地調査 一般運営 NaviTabi必須	**チェックポイント（CP）候補の現地確認・GPS精度チェック・見本写真の撮影** CPの数と範囲は大会の性格に合わせて決める。競技志向の大会なら上位のチームでも全部は回りきれない程度にするのが一般的で、家族向けや観光の回遊が目的なら、多くの参加者が大半を回れる程度に抑える。現地で①GPSが大きくずれないか（高層ビルの陰・深い谷・屋内は注意。屋内はスポットパンチQRの併用を検討）、②立ち止まって安全に撮影できるか、③CP同士が近すぎないかを確かめ、分かりやすい構図で見本写真を撮る。	コース担当	担当： 期限： /
☐	9	イベント基本設定 NaviTabi必須	**NaviTabiの「通常のイベントを作成」でイベントを作り（非公開で作られる）、参加承認と高度な設定を行う** イベント名・開催日・説明文・カバー画像を設定する。STEP 0 に合わせて「プレイには参加承認が必要」「エントリー番号の入力を必須にする」「常にライブトラッキングを有効にする」「プレイ中に他のプレイヤーを表示しない」「AIによる写真判定を有効にする」（見本写真のあるCPが対象）を設定する（いずれも主催者プラン）。アンケートを取るなら、Googleフォームなどでアンケートを作り、そのURLを「プレイ終了時に開くURL（アンケートなど）」に入れる（主催者プラン。プレイを終えると外部ブラウザで開く案内が出る。練習用カテゴリーでは出ない）。地図を伏せる場合は「ライブマップと結果リストを隠す」もオンにする。方式B3は #7 で作って公開済みなので、ここでは設定を足す。	アプリ担当	担当： 期限： /
☐	10	スポット・コース NaviTabi必須	**スポット（CP）の配置・見本写真登録と、コース作成・配点バランス調整** アプリまたはWebでCPを配置し（CSV・マイスポット・IOF-XMLからの取り込みも可。CSVの取り込みは主催者プラン、マイスポットはプラン不要）、見本写真と説明文（AIで自動生成も可）を登録する。コースを作り、スタート（△）・フィニッシュ（◎）・各CPの配点を設定する（自動配点やWebのベストルート推定も使える。自動配点は対象のCPが11個以上なら主催者プラン）。	コース担当	担当： 期限： /
☐	11	安全エリア設定 NaviTabi推奨	**地図上での「競技エリア（範囲外警告）」と「立入禁止エリア（進入警告）」の範囲指定** 河川・崖・幹線道路・私有地・地図の外などを地図上で囲む。境界を越えると参加者のスマホに警告音・振動と戻る方向が出て、本部の運営コンソールやライブ画面では「外」「禁」のバッジ付きで一覧の先頭に出る（設定すると、プランがなくてもライブトラッキングは常に有効になる）。	コース担当	担当： 期限： /
☐	12	カテゴリー設定 NaviTabi必須	**カテゴリーの作成（制限時間・遅刻減点・パンチ方式・反応距離・エントリー番号範囲）** コースを割り当て、制限時間・遅刻減点（1分あたり）・パンチ方式・パンチ反応距離（開けた場所は20〜40m、ビル街や樹林帯は40〜60m）・位置情報取得モード（通常は「標準」、長時間の大会は「スマート1/2」）を設定する。チームにするかは作成時にしか選べない。複数カテゴリーでQR受付するなら「エントリー番号（開始〜終了）」が重ならないようにする。	アプリ担当	担当： 期限： /
☐	13	オプション機能 条件付	**大会演出オプション機能（クイズ・シークレット・計時停止・組み合わせボーナス・ボーナスQR等）の設定** 企画に必要な機能だけを設定する（下の早見表を参照）。「ボーナスQR」「組み合わせボーナス」を設定すると（競技エリア・立入禁止エリアも同じ）古いアプリからは参加できなくなる。組み合わせボーナスはルールを消してもこの制限が解除されないので、本番のイベントで試さず、別のテストイベントで確かめる。	コース担当 アプリ担当	担当： 期限： /
☐	14	練習ミニコース NaviTabi推奨	**当日会場で試せる練習用ミニコース（CP2個以下・60分以下）の作成** CP2個以下・制限時間60分以下のコースは1日のプレイ枠を使わない。受付の近くでスタート→パンチ（撮影または通過音）→フィニッシュを試せるようにしておくと、操作の迷いやカメラ権限の許可漏れを先に解消できる。参加承認制では、受付（承認）を済ませた人から練習できる。地図を伏せる運用では、伏せている間は練習カテゴリーもプレイできない（手動の一斉スタート・個別スタートはスタートまで練習できない）。	コース担当	担当： 期限： /

🎛 大会演出・安全管理で選べる「主要オプション機能」早見表（必要な機能のみ設定）

- **クイズ付きスポット**：CP到着時に選択式問題を出題し正解で加点。謎解き・学習・観光ガイドに有効。
- **シークレットスポット**：CPの「得点」または「位置の円と得点」を地図上で隠すサプライズ演出（要主催者プラン）。
- **計時停止（一時停止スポット）**：スポットで計時を止め、買い物や食事の時間を競技時間から外す（要主催者プラン、個人戦のみ）。
- **スポットパンチQR／ビーコン**：GPSが届かない屋内CPでのQRコード読取パンチ、またはBluetoothビーコン検出（ビーコンの設定はiOSアプリのみ）。
- **組み合わせボーナス／ボーナスQR**：特定CP群の巡回達成で自動加点（チーム戦も可）、または店舗提示QRスキャンで加点（個人戦のみ）。

⚠ コース・カテゴリー設定で気をつけること

- スコアコースで**自動パンチ**を使うと、CPを1つ以上パンチした後にフィニッシュの範囲へ入った時点で、確認なしに完走になります。フィニッシュ付近を通るコースは「自動パンチ＋手動フィニッシュ」にしてください。
- **コース種別とチーム（得点合算）**はカテゴリー作成時にしか選べません。チーム（得点合算）は自動パンチ・ボーナスQR・計時停止に対応していません。

NaviTabi ロゲイニング向け

イベント開催準備チェックリスト【事前準備編 3/4：現地通し試走・競技地図・案内資料制作】

PHASE 3 開催 1ヶ月〜1週間前 実機での現地通し試走・競技用マップ／参加案内資料の作成・賞品手配

実機で現地を試走してGPSの反応や所要時間を確かめ、印刷用の競技地図・CP一覧・参加案内・賞品をそろえる段階

	#	分野・区分	準備項目（タスク） ＆ 一般ロゲイニング×NaviTabi 運用の実務ポイント	推奨担当	担当者・期限
☐	15	現地通し試走 NaviTabi必須	**本番と同じスマホ設定での「現地通し試走（テストプレイ）」の実施** ダッシュボードの「試走する」（プレイ枠を使わない）で実際に現地を回り、①スタート・フィニッシュが確実に反応するか、②CPの円の中心と現地の対象物がずれていないか、③パンチ・カメラ・通過音が意図どおり動くか、④危険箇所や通行止めがないか、⑤所要時間と配点が妥当かを確かめ、コースを仕上げる。	コース担当 アプリ担当	担当： 期限： /
☐	16	オプション検証 条件付	**採用したオプション機能（クイズ・計時停止・シークレット・ボーナス等）の実機動作確認** クイズの正解加点と解説、計時停止と再開、シークレットスポットの隠れ方、ボーナスQRの読み取りと加点（「🎁 ボーナス獲得！」の表示）、組み合わせボーナスのタグと対象CPの表示が意図どおりか、実機で確かめる。	アプリ担当 コース担当	担当： 期限： /
☐	17	店舗・現地QR準備 条件付	**スポットパンチQR（PDF）・ボーナスQR（1件ずつ画像保存）の出力と、現地掲示・店舗配布の段取り** スポットパンチQRは「準備＞スポットパンチQR」からPDFを出力する。前日〜当日朝に各CPへ掲示し、終了後に撤収する担当と順路も決める。ボーナスQR（最大50件）は一括PDFがないので1件ずつ画像で保存し、「条件を満たした人にだけ見せる・参加者に撮影させない・常時は掲示しない」と書いた案内と一緒に協力店舗へ渡す（過去のイベントのボーナスQRは使い回せない）。	コース担当 （渉外）	担当： 期限： /
☐	18	競技地図・CP表 一般運営 NaviTabi推奨	**印刷用の「競技地図（マップ）」と「チェックポイント（CP）写真・得点一覧表」の作成** ロゲイニングでは、全体を見渡して作戦を立てられるよう、紙の競技地図（A3/A4カラー・磁北線・縮尺・立入禁止の明記）とCP一覧表を配るのが一般的。スマホの電池が切れたときの備えにもなる。ダッシュボードの「準備」にある「PDF地図」「PDFスポット一覧」（配布用は主催者プラン）で書き出したものは、そのまま印刷しても、大会名や注意事項を書き足すなど加工して使ってもよい（地図下端の地理院地図・OpenStreetMapなどの出典表示は消さない）。参加者には、作戦は紙の地図とCP一覧表、現在地の確認・通過の記録・採点はNaviTabi、と分けて説明すると伝わりやすい。	コース担当 アプリ担当	担当： 期限： /
☐	19	参加案内・プログラム 一般運営 NaviTabi必須	**参加者向け「大会プログラム」＆「NaviTabi操作クイックガイド」の作成** 配布テンプレート（01〜04）を使い、大会名・開催日時・制限時間・遅刻減点・本部の緊急連絡先・イベント表示QRを載せる。①先にアプリを入れてからQRを読むこと、②位置情報は「常に許可」・省電力モードはオフ・カメラは許可、③パンチやカメラが反応しないときは標準カメラで撮って先へ進み、フィニッシュ後に申告する、という救済ルールを書いておく。	総務担当 アプリ担当	担当： 期限： /
☐	20	説明の準備 NaviTabi最重要	**スタッフが参加者に操作を説明できるようにする準備と、権限の追加** アプリ担当は、配るクイックガイドと練習コースを使い、受付やスタートで操作サポートに入るスタッフに説明の流れとよくある質問を伝え、前日までに一度は練習してもらう。アプリ担当がスマホアプリの「準備（Androidは「配布準備」）＞管理者を追加」から、スタッフのQRかメールアドレスで追加する（Webからは追加できない。主催者プランが要る）。スタッフは先にログインしておく（匿名では画像を追加できない）。受付・承認・監視・写真チェック・得点調整を受け持つスタッフは「イベント運営者」にする。	アプリ担当	担当： 期限： /
☐	21	印刷・賞品手配 一般運営	**紙地図・CP一覧表・会場掲示POPの印刷と、表彰状・賞品・参加賞の手配** 競技地図・CP一覧表（予備を含む）と、受付に貼る参加受付QR（またはイベント表示QR）の案内POPを印刷する。各カテゴリーの表彰状、上位の賞品・特別賞、全員に配る参加賞・地域クーポンも手配する。	総務担当	担当： 期限： /

👥 役割と兼務のモデルケース（推奨担当の欄はこの4つと当日スタッフで書いています）

役割	受け持つこと	向いている人
統括責任者	企画、会場・許可・保険・予算、役割分担、開催の判断。当日は競技説明、スタッフへの指示、表彰	決定権があり、関係先と話せる人
コース担当（渉外を含む）	現地調査、CPと配点、試走、競技地図とCP一覧、協力店舗や施設との調整。当日は現地のQRとCPの巡回	地図が読めて現地を歩ける人、地域とつながりのある人
アプリ担当	NaviTabi のイベント設定と公開、主催者プランとプレイ枠、名簿の取り込み、スタッフの追加と、ほかのスタッフが参加者に操作を説明できるようにする準備（#20）。当日は、本部の運営コンソールと、操作サポートのまとめ役	スマホの操作に慣れていて、人に説明するのが苦にならない人
総務担当	募集と案内、受付と名簿、資材、賞品と参加賞、会計。当日は会場・受付・フィニッシュ	段取りと事務が得意な人

・少人数なら兼務にします。2人なら「統括責任者＋コース担当」と「アプリ担当＋総務担当」、3人なら統括責任者が総務担当を兼ねます。当日は受付・スタート・フィニッシュ・巡回・操作サポートに当日スタッフを加えます（#20）。救済・減点・失格を判定する競技責任者は、統括責任者かコース担当が兼ねます。
・アプリでは、統括責任者・コース担当・アプリ担当を所有者か「イベント管理者」（最大5人）、総務担当と、受付・監視などを受け持つ当日スタッフを「イベント運営者」（最大20人）で追加します。主催者プランの機能は加入した本人しか使えないので、プランに入る人をアプリ担当にすると進めやすくなります。
・受け持てない役割は、NaviTabiの有償サポートに相談できます（どこまで引き受けるかは相談して決めます）。目安は、設定代行・コース作成の助言・CPの下見と撮影（各55,000円〜）、当日のスタッフの派遣（1名 半日22,000円〜）・遠隔ヘルプデスク（半日22,000円〜）、印刷用の地図・CP一覧表の作成（各33,000円〜）です（税込。下見と派遣の交通費・宿泊費は別）。

NaviTabi ロゲイニング向け

イベント開催準備チェックリスト【事前準備編 4/4：直前準備・イベント公開・最終点検】

PHASE 4　開催 1週間前〜前日　追加プレイ枠の購入・名簿の準備・イベントの公開・配布物のセット組み

開催直前の週に追加プレイ枠の購入・名簿の準備・自動の一斉スタートの日時確定・イベントの公開を済ませ、配布物と賞品を当日すぐ渡せる形に整える段階

	#	分野・区分	準備項目（タスク） ＆ 一般ロゲイニング×NaviTabi 運用の実務ポイント	推奨担当	担当者・期限
☐	22	追加プレイ枠購入 NaviTabi最重要	**開催7日前〜前日に追加プレイ枠を購入（購入した日の7日後23:59まで有効）** 追加プレイ枠（1・5・20・50枠）は購入した日の7日後の23:59まで有効（例：4/1購入→4/8まで）。8日以上前に買うと当日には切れているので、開催7日前〜前日に「運営＞プレイ枠の購入」で買い、ヘッダーのプレイ枠の上限が増えたことを確かめる（当日に買ってもすぐ反映される）。代金は購入した人のストアアカウントに請求される。約25%割引は、主催者プランに入っているイベント所有者・イベント管理者が日本のストアで買ったときだけ（運営者が買うと通常価格。グループで作ったイベントは対象外）。	アプリ担当	担当： 期限：　/
☐	23	参加者名簿の準備 一般運営 条件付	**確定エントリーリスト（受付・出欠確認用名簿）の作成と、必要に応じたNaviTabiへのCSV取込** エントリー番号・チーム名（表示名）・カテゴリー・緊急連絡先をまとめた運営用の名簿（紙またはExcel）を作る。QR受付で番号を入れたら表示名が入るようにしたい場合は、「エントリー番号, 表示名, メモ」のUTF-8のCSVを「参加者＞参加者インポート」から取り込む（イベント管理者以上。紙の名簿だけで照合するなら不要）。	総務担当 アプリ担当	担当： 期限：　/
☐	24	スタート日時 条件付 NaviTabi最重要	**自動の一斉スタートを使う場合の、開始日時の最終確定（遅くとも開催前日までに設定）** 参加者のアプリはプレイ画面を開いたときに開始日時を読み込むので、画面を開いた後やスタート準備を済ませた後に時刻を変えても反映されない。前日までにカテゴリー設定で確定させる。やむを得ず当日変えるときは、まだスタート準備をしていない参加者にプレイ画面を開き直してもらう。号令で各自がスタートボタンを押す手動の一斉スタートなら、この設定は要らない。	アプリ担当	担当： 期限：　/
☐	25	イベント公開・公開前チェック NaviTabi必須	**イベントの公開と公開前チェック（受付・承認の設定確認）** アプリのヘッダーの「公開する」で公開すると、公開前チェックが自動で走る（Webの「公開する」スイッチはチェックを通らない）。「要修正」は0件にし、「確認事項」は1件ずつ意図どおりか判断する。参加承認制では、①本番用カテゴリーを1つ以上「公開」、②方式B2・B3なら「参加申請受付」をON、③「参加承認後」の権限（地図を伏せるなら「操作を許可しない」）を確かめる。非公開のままでは参加受付QR・イベント表示QRが使えない。方式B3は #7 で公開済み。	アプリ担当	担当： 期限：　/
☐	26	参加者への最終案内 一般運営 NaviTabi必須	**参加者への最終案内（大会サイト掲載・申込サイト通知・メール等での事前準備リマインド）** 開催3〜7日前に、メール・大会ページ・申込サイトのメッセージなどで最終案内を送る。①Wi-Fiのあるところで NaviTabiを最新版に更新し、ログインを済ませておくこと、②スマホは満充電にしてモバイルバッテリーを持ってくること、③自分のエントリー番号と集合・受付の時刻、④本部の緊急連絡先を伝える。方式B3は未申請の人に参加申請を、方式B2はイベント番号を案内する。	総務担当	担当： 期限：　/
☐	27	配布物・賞品準備 一般運営	**当日配布物（紙地図・CP一覧表・参加案内・参加賞）のセット組みと表彰賞品の仕分け（前日まで）** 当日朝の受付が混まないよう、チームや参加者ごとの配布物（競技地図・CP一覧表・参加案内・参加賞・クーポン）をすぐ渡せる形にまとめておく。地図を作戦時間の開始まで伏せる場合は封筒に入れるか別束にし、アプリ側は下の手順で伏せる。賞品・賞状もカテゴリーと順位ごとに分けておく。	総務担当	担当： 期限：　/
☐	28	本部機材・充電確認 一般運営 NaviTabi必須	**本部PC「運営コンソール」接続確認、紙バックアップ名簿、貸出バッテリー・スタッフ端末の満充電** 本部のノートPCと回線（ポケットWi-Fi・テザリング）でWebの「運営コンソール」が開けるか確かめ、紙の参加者名簿（帰還チェック・時刻の控え用）と予備の地図もそろえる。スタッフの端末・PC・貸出用モバイルバッテリー（ケーブルも）を満充電にし、天気予報も確かめる。ほかの機材・資材は「09 機材・資材チェックリスト」で確かめる。	運営スタッフ全員	担当： 期限：　/

🗺️ 地図を作戦時間の開始まで伏せる手順（方式B1〜B3）

1. 承認を始める前に（方式B2・B3は申請受付の前）、参加者リストの**「参加承認後」を「操作を許可しない」**にします。承認済みの人もカテゴリーを開けず、コースは見えません。
2. イベント設定の**「ライブマップと結果リストを隠す」をオン**にします。Webのイベントページは承認と関係なくコースを表示するので、これで運営メンバー以外には閉じます。大会後にオフへ戻すと結果を公開できます。
3. 地図を配る時刻に「参加承認後」を切り替えます。自動の一斉スタートなら**「プレイを許可」**でかまいません（時刻まではスタートできません）。手動の一斉スタートや個別スタートなら「地図表示まで許可」にし、スタートのときに「プレイを許可」へ切り替えます。運営者でも切り替えられます。
4. 開いたままのカテゴリー画面は切り替わらないので、イベント画面に戻ってカテゴリーを開き直してもらいます。
5. 伏せている間は練習カテゴリーもプレイできません。自動の一斉スタートなら練習は地図を配った後に回し、手動の一斉スタートや個別スタートでは操作を口頭で説明します。

⚠️ 開催前日までに防ぎたい5つのつまずき

1. **追加プレイ枠を早く買いすぎる。**有効なのは購入した日の7日後の23:59までです。開催7日前より前に買うと、当日には切れています。
2. **自動の一斉スタートの時刻を当日に変える。**プレイ画面を開いた参加者には反映されません。前日までに確定してください。
3. **練習用カテゴリーだけを公開している。**参加承認制では、練習用（CP2個以下・60分以下）だけでは参加申請もQR受付もできません。本番用カテゴリーを1つ以上「公開」にしてください。
4. **イベントが非公開のまま。**参加受付QR・イベント表示QR・プレイ開始QRがすべて使えません。
5. **「参加申請受付」がOFF。**アプリで参加申請を受ける方式B2・B3では、参加者が申請できません。